

平成30年度 ぶどうのプール 児童発達支援自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		1ルームに多くいる時があるが、訓練室を分け、4人でまで対応している
	2 職員の配置数は適切であるか	○			開所要件以上を満たしており、職員も適切に関わり易くするため、部屋を分けて対応している
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○	棚や柵等手すりの変わりになる物を配置はしている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			壁面などで児童の過ごす場所には楽しんでもらえるように装飾したりと空間作りにも取り組んでいる
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			施設会議、ミーティング等を使って職員参加を促している
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	日頃から電話等で密に連絡を取っている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか			○	ホームページを作成中で自己評価等を公開する予定
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		社労士さんやトレーナーの方にも入って頂き、更に相談員にもアドバイザーとして評価して頂いている
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修委員会を立ち上げている
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			毎回モニタリングの際には訪問、又は電話などで保護者と話しながら計画を考えている
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシート、個別支援、障害児等利用計画等
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援がコアの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」の下等支援内容から子どもの支援に必要項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			案を作ったと後、職員で確認し、変更案が出るとそれも踏まえ作成を行っている。
	13 児童発達支援計画書に沿った支援が行われているか	○			毎日の支援で行うように心掛けている。
適切な支援の提供	14 活動のプログラムの立案やチームで行っているか		○		活動プログラムはスタッフ全員で考えている
	15 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか		○		児童によっては活動内容を落ち着くルーティーンにしているため、あえて固定化させている部分もある
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			部屋分けと集団を両立しながら適切に組み合わせを行っている
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		支援開始前のミーティングで話し合いをしている
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員で本日、気になった児童等を話し、グループlineなどでも共有。当日出来ない時は翌日の昼のミーティングで話している
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		つけている児童とつけていない児童がいるが個別プログラムの児童に対してはつけている
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			訪問、又は電話で必ず母親、父親と話をしている
	21 障害児相談支援事業所のサービスマン会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			自施設内で行う時には参加してもらっている。他施設を交えての会議には施設長を中心として必要な人なるべく参加できるようにシフトの調整を行っている。
関係機関や保護者との連携	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保育園や幼稚園等、必要時連絡や訪問を行っている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		医療的ケア、重心の方の支援を行っていない。行う場合連携していく予定
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子ども主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケア、重心の方の支援を行っていない。行う場合連携していく予定

関係機関 や保護者との 連携	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保育園や幼稚園等、必要時連絡や訪問を行っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要な時に情報提供を行っている。時には相談支援員を通して情報共有を行っている
	27 他の児童発達支援センターや児童発達障害者支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修委員の企画にて、行っている。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在行っておらず、今後どう関わりが出来るか検討して、職員は園と交流を持っている
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			グループとして参加している。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際に保護者とお話をさせて頂き、難しい場合は電話で対応している
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	話し合いは行い、保護者様にも考えて頂けるように促している。トレーニングの仕方を研修にて学んでいく
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に運営規定や利用者負担のお話はさせて頂き、モニタリングや個別支援で支援内容のお話はさせて頂いている
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			送迎時又は個別に訪問して説明を行い、同意を頂く様にしている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			話しに耳を傾け、必要に応じて情報提供もしている。
保護者への説明責任等	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			事業所での保護者会を活用し、つながりをつくっている
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			基本的には連絡があった時にはその日のうちに施設長が連絡をし、解決に努めている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			説明付きでとまと便りを配っている。
	38 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			書類の管理を鍵のついた所へ移動する
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			研修会などで知識を増やしていき、対応、配慮できるようにしている
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			近隣の住民のかたと話しをしている
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			書面を用意し、配布を行っている
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年、地震、火事の災害の練習を2回行っている
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			事前確認を行い、予防接種なども新たにを行う物も確認している。事前確認の中で予防接種は情報としてものがらになっている。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			事前アレルギーについて保護者様から聞き取り注意点を確認している。
非常時等の対応	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			グループの書式に基づき行っている
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員の研修の機会を作るようにして伝えている。
	47 どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			保護者から許可をもらえるように児童発達支援計画に記載をしている